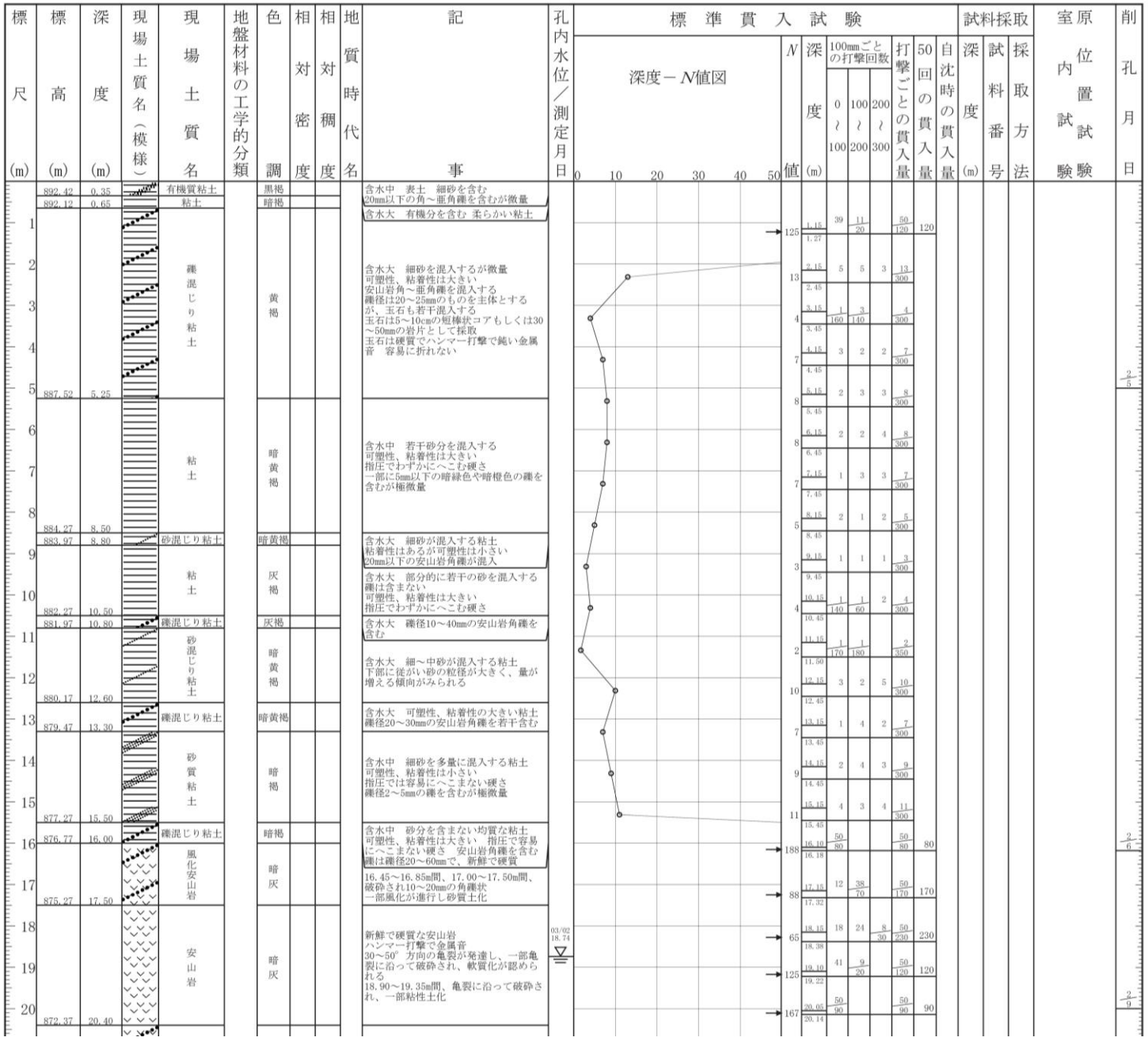
柱状図



標尺 (m)
標高 (m)
深度 (m)
現場土質名（模様）
現場土質名
地盤材料の工学的分類
色調
相対密度
相対稠度
地質時代名
記事
孔内水位／測定月日
標準貫入試験
深度－N値図
0 10 20 30 40 50
N値
深度 (m)
100mmごとの打撃回数
0～100
100～200
200～300
打撃ごとの貫入量
50回の貫入量
自沈時の貫入量
試料採取
深度 (m)
試料番号
採取方法
原位置試験
室内試験
削孔月日
892.42 0.35 有機質粘土 黒褐 含水中 表土 細砂を含む 20mm以下の角～亜角礫を含むが微量
892.12 0.65 粘土 暗褐 含水大 有機分を含む 柔らかい粘土
礫混じり粘土 黄褐 含水大 細砂を混入するが微量 可塑性、粘着性は大きい 安山岩角～亜角礫を混入する 礫径は20～25mmのものを主体とするが、玉石も若干混入する 玉石は5～10cmの短棒状コアもしくは30～50mmの岩片として採取 玉石は硬質でハンマー打撃で鈍い金属音 容易に折れない
887.52 5.25
粘土 暗黄褐 含水中 若干砂分を混入する 可塑性、粘着性は大きい 指圧でわずかにへこむ硬さ 一部に5mm以下の暗緑色や暗橙色の礫を含むが極微量
884.27 8.50
883.97 8.80 砂混じり粘土 暗黄褐 含水大 細砂が混入する粘土 粘着性はあるが可塑性は小さい 20mm以下の安山岩角礫が混入
粘土 灰褐 含水大 部分的に若干の砂を混入する 礫は含まない 可塑性、粘着性は大きい 指圧でわずかにへこむ硬さ
882.27 10.50
881.97 10.80 礫混じり粘土 灰褐 含水大 礫径10～40mmの安山岩角礫を含む
砂混じり粘土 暗黄褐 含水大 細～中砂が混入する粘土 下部に従がい砂の粒径が大きく、量が増える傾向がみられる
880.17 12.60
879.47 13.30 礫混じり粘土 暗黄褐 含水大 可塑性、粘着性の大きい粘土 礫径20～30mmの安山岩角礫を若干含む
砂質粘土 暗褐 含水中 細砂を多量に混入する粘土 可塑性、粘着性は小さい 指圧では容易にへこまない硬さ 礫径2～5mmの礫を含むが極微量
877.27 15.50
876.77 16.00 礫混じり粘土 暗褐 含水中 砂分を含まない均質な粘土 可塑性、粘着性は大きい 指圧で容易にへこまない硬さ 安山岩角礫を含む 礫は礫径20～60mmで、新鮮で硬質
風化安山岩 暗灰 16.45～16.85m間、17.00～17.50m間、破砕され10～20mmの角礫状 一部風化が進行し砂質土化
875.27 17.50
安山岩 暗灰 新鮮で硬質な安山岩 ハンマー打撃で金属音 30～50° 方向の亀裂が発達し、一部亀裂に沿って破砕され、軟質化が認められる 18.90～19.35m間、亀裂に沿って破砕され、一部粘性土化
03/02 18.74
872.37 20.40